



京都府倫理法人会会報
つなぐ和
号外
令和7年02月1日発行
発行：京都府倫理法人会
制作・企画：広報委員会

京都伏見倫理法人会
設立記念号

表紙 京都伏見倫理法人会 設立式典
新春の宴 2025

特集 京都伏見倫理法人会設立のご挨拶
安澤 輝香 会長
和田 毅 法人局局长



新春の宴2025



京都伏見倫理法人会設立のご祝辞

京都府倫理法人会
第11代目 会長

安澤 輝香

大寒の候、会員の皆様におかれましては益々ご清祥の事とお慶び申し上げます。また、平素は倫理運動にご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

一月八日、ホテルグランヴィア京都にて京都府京都伏見倫理法人会設立式典を執り行いました。約二〇名がご参集下さる中、和田

局長から初代笹原会長へ認定書が授与され、そして念願の倫理ブルーの行動旗が坪内専任幹事の手に託され、大きく旗めく瞬間、会場は祝福の拍手に包まれました。約一年間の月日が走馬灯のように蘇り、私も涙が溢れました。「再び伏見の地に倫理ブルーの行動旗を高く掲げる」地域社会の発展と企業

の繁栄、家庭の安寧、世直し運動として始まった純粋倫理の燈火を伏見に。この目的を見事に京都伏見の会員の皆様、笹原会長の率先垂範のもと「伏見から日本創生。京都伏見、心はひとつ」をスローガンに短期間で開設、設立を果たし一〇六社で設立式典を迎えることができました。

ここに至るまでの経緯は単純で平坦な道のりではありませんでした。「なぜ伏見

に？」「設立できるはずがない」と言われたこともありましたが、そして一旦は白紙に戻った京都伏見。しかしその後、笹原会長は再び「受けて起つ」と、覚悟を決めてくださいました。何かを始めることは覚悟を迫られ、試されます。最初の試練は、この覚悟を試され、学ばせていただける素晴らしい苦難でした。たった一人から始まった京都伏見は、坪内専任幹事、白波瀬事務長が新任、そしてベテランの柴田モーニングセミナーリーダーが運営を一手に担つての四人体制が生まれました。倫理をご存知ない方々が会員になって下さり、役職を受け、一人、また一人と運営できる体制になり、現在は「クセになるモーニングセミナー」として参加率も非常に高く、明るく楽しく経営者の

ためになるいい会を具現化しています。

開設・設立に際して、ご尽力賜りました他府県、府内の講師の皆様、心より御礼申し上げます。そして他単会の会長をはじめ役職者の皆様のご理解とご協力、ご支援に感謝申し上げます。なによりも京都伏見の会員として共に学び実践するお仲間になつてくださいました皆様、ありがとうございます。

結びに、皆様益々のご健勝と企業のご繁栄を祈念申し上げまして挨拶と致します。京都府倫理法人会 第十一代会長 安澤輝香

京都伏見倫理法人会設立のご祝辞

一般社団法人倫理研究所
法人局 法人局長

和田 毅

京都伏見倫理法人会の設立、誠にめでとうございます。京都府倫理法人会の役職者の皆様、そして関係各位のご尽力に対し、心から敬意を表します。今から一年と少し前の二〇二三年一〇月、安澤輝香会長の「揺るぎない一〇〇〇社体制」の構想の中、新たな種作りを日本創生に寄与・貢献できる団体として成長したい」という願いを受け、笹原堂弘氏が京都伏見の設立を決意されました。笹原氏の志に心を動かされ

た多くの方々が集い、伏見の地での活動がスタートし、倫理経営を志す仲間づくりが推し進められました。昨年六月には、京都伏見準倫理法人会としての開設を迎え、それから約半年足らずの間に設立基準となる一〇〇社を見事に突破されました。さらに特筆すべきは、京都伏見に集うほとんどの会員が他の単会からの移籍ではなく、当会設立を機に新たに入会された方々であることです。その多くが笹原会長の熱い志に共感し、ご縁を結ばれたと伺っ

ております。「伏見から日本創生、京都伏見心は「一」」というスローガンのもと、「貫いた情熱を持って笹原会長を中心に役職者の皆様と協を固め、会一丸となって普及に奔走された結果が、本日の慶事へと繋がりました。

これからも伏見の地から新たな倫理の種をまき、芽を育み、一輪でも多くの喜びの花が咲き、この地域を健全に活性化する一助となることを心より願っております。

笹原堂弘会長と上下一心を合わせ、力強く地元企業へ倫理経営をおすすめいただくとともに、より良い人材を輩出し、より良い町づくり・地域づくりに尽力されますよう、大いに期待しております。

一般社団法人倫理研究所
法人局 法人局長 和田毅



会長

笹原 堂弘

このたび晴れて、令和七年一月八日に京都伏見倫理法人会を設立する事が出来ました。

開設に至るまで、京都府役職者を始め、単会会長の皆様にはご協力、ご支援賜り、誠にありがとうございました。

ついに伏見にも皆の想いの詰まった、倫理ブルーの行動旗が来ました。第一回目のモーニングセミナーで、行動旗を会場に掲げた時、とても感慨深く涙がこぼれました。やっとここまで来ることができた。ついに宇治伏見時代の悲願を達成する

ことが出来たと思えました。「本を忘れず、末を乱さず」この嬉しさと、会員皆さまへ感謝の心を決して忘れることなく、これから先も運営して行く、と、深く心に刻み込みました。

そして京都伏見倫理法人会の理念、「純粹倫理を愛し、学び、実践すること、で、家庭と会員企業の繁栄を実現します。」に基づき、会員同士がお互いに切磋琢磨しながら、人間性を磨き、家庭も会社も発展させられる、笑いの絶えないセミナーを開催していきます。



このたび晴れて、京都伏見倫理法人会を設立する事が出来ました。開設に至るまで、京都府倫理法人会の役職者の皆様を始め、たくさんの方にお力添えいただき、誠にありがとうございました。たった一人の会長予定者から始まったこの普及活動。その時から一歩ずつ行ってきた普及が、現在一〇六社の仲間となっております。

会長、白波瀬事務長、柴田MSリーダー本当にありがとうございます。ついに倫理ブルーの行動旗を高く掲げることが出来ました。なんともいえない感情が溢れてきました。ですが、ここからが本当のスタートです。会員の皆様と共に、京都伏見の地に、純粹倫理の灯火を絶やすことなく、繋いで参ります。

私たちはこれからも純粹倫理を学び実践する仲間を集い、本年度目標である一三〇社を達成することを誓い申し上げます。

専任幹事

坪内 将吾



事務長

白波瀬 初美

この度、京都伏見倫理法人会事務長を拝命致しました。白波瀬初美と申します。

倫理法人会に入会して、行動旗を単会に迎えるという一生に一度の貴重な体験をさせていただいた事に大変感謝しております。

単会設立に向けての事は、京都府の役職者の皆様にご指導いただいたお陰で苦勞と感じた事はほとんどありません。

まず、柴田モーニングセミナーリーダーが言わ



れた倫理法人会の看板商品であるモーニングセミナーをブレの段階から完璧に近いものにした。これこそ当初、笹原会長の「メリハリ、ONとOFFをはっきりしたい」と言われたことに一番つながる事だと感じたので、事務長としてできる限りの事を考えて行動いたしました。

設立を迎えられてこれからの運営に際し、いつもアクセル全開の笹原会長の良きナビゲーター役になれるように頑張っていきます。

新設単会でMSリーダーを拝命しましたことで、その運営を通じて多くを学ばせていただきました。京都伏見倫理法人会会員の九〇％は新規入会ということで、モーニングセミナーがマニュアル通りスムーズに混乱することなく開催するにはどうしたらよいのか？まず、そのことを模索しながら準備して参りました。

作りです。このことは、今後多くの取り組みの中で、基本であり基準であると捉えたからであります。当初のスタートを曖昧にしてとりあえずの気持ちで始めると改善点が余りにも多発し過ぎ、本論を見失うばかりでなくかえって混乱してしまいます。相手さんの立場にたって心を込め、妥協することなく準備をすることが、後の運営に大きく左右すると確信できたことに、お役を通じ感じさせていただきました。

MS委員リーダー 柴田 和昌

